

# 須田家住宅

すだけ じゅうたく



## 現代によみがえる町屋



須田家住宅は、西国街道と愛宕道(物集女街道)の分岐点に位置します。昔、この辺りにはこういった商家がたくさんありましたが、周辺の環境も変わる中、老朽化が進み、1972年(昭和47)からは空き家となっていました。1987年(昭和62)、京都府の有形文化財に指定され、1991年(平成3)からおよそ6年の歳月をかけて修復されました。

須田家住宅 京都府向日市寺戸町西ノ段1番地



こんにちは  
たくさんお店があったんだ!

現在の松葉屋はココ!!

### 松葉屋 (須田家住宅) と向日町に栄えた町なみ

松葉屋は遅くとも1744年(延享1年)には今の場所に移ったんだ!

江戸時代初期の1616年(元和2)、向日町の町なみを記録した冊子には、米屋、酒屋、油屋などの食料店や呉服屋、植木屋、さらに、この地域の特産品の竹を扱う業者など多くの商家が見られます。

とくに松葉屋周辺は大きな店がたち並び、京都近郊の町場としてにぎわっていた様子がわかります。



聞こえてきませんー

江戸時代の向日町のにぎわいが...



発行 向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20番地 TEL.075-931-1111



# 京都府の指定文化財 須田家住宅とは？

須田家は、京都から西宮に通じる西国街道、嵯峨から愛宕山へ向かう愛宕道（現物集女街道）と向日町から丹波へ向かう丹波道の分岐点にあります。「松葉屋」の屋号をもち、明治30年代まで、おもに醤油の製造・販売をしていた商家です。



## 当主は久兵衛さん

久兵衛さんは、江戸時代初期の1616年(元和2)、向日町上之町で、醤油づくりをしていました。以後、当主は代々久兵衛を名乗り、向日町上之町の組頭などの町役人をつとめ、指導的な役割を担ってきました。

## 向日町と松葉屋(須田家)

1592 (天正20)	向日神社の門前に向日町が成立
1616 (元和2)	向日町の屋敷地と職業の調査の実施 松葉屋利兵衛、上之町中丸ノ段で醤油屋を営む
1679 (延宝7)	向日町上之町の検地実施(上之町町衆32軒) 松葉屋甚右衛門が記載される 現在の須田家住宅主屋南棟を建てる
1719 (享保4)	松葉屋久兵衛、中丸ノ段に居住
1744 (延享1)	この頃までに、松葉屋が西ノ段の 現在地に移る
1825 (文政8)	「向日里人物志」がつくられる 松葉屋利八郎(隅田清陽)、 向日町を代表する文人の一人として活躍
1842 (天保13)	この頃、向日町上之町37軒・下之町約60軒 松葉屋が主屋北棟を建て添える
1885 (明治18)	この頃、松葉屋が座敷の北側に奥座敷を増築

江戸時代

明治時代

## <修復(整備)後のすがた>

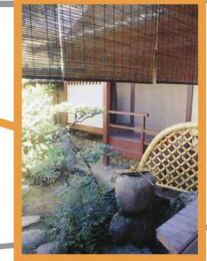
### 主屋 平面図



京都府下では最も古い町屋です。



上の蔵

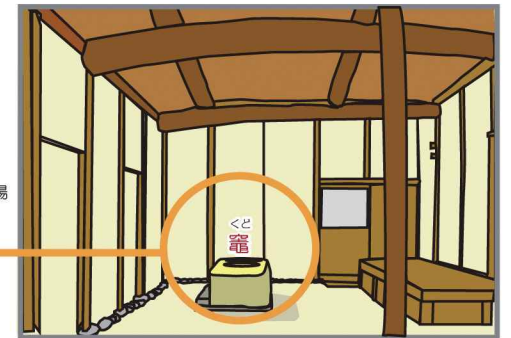


前庭

### 正面図 (東立面図)



南棟は柱が細く、あしゅれなつくりだよ！京都の町屋とはちがって間口は広いね！



おくとさんてたくさんの使用人のまかないをしたらどうかな...



現在の須田家住宅はもともと西国街道の向かい側にあったのね！

